

香美市長選挙開票結果

任期満了に伴う香美市長選挙を3月23日に行い、即日開票し、法光院晶一氏が初当選を果たしました。投票が行われたのは、平成18年に香美市が誕生して、初めてです。

■当日有権者数	23,070人
■投票者数	13,684人
■投票率	59.3%

候補者名	得票数
法光院 晶一	4,914票
笹岡 まさる	3,433票
黒岩 直良	3,010票
有元 かずや	2,193票
無効票	134票

選挙ポスター標語コンクールで鏡野中生徒7人が受賞

高知県選挙管理委員会と高知県明るい選挙推進協議会主催の平成25年度明るい選挙啓発作品ポスターコンクールで、鏡野中学校1年生の坂本陽菜さんが委員長賞を受賞しました。このほか、同中2年生の笹岡志乃さん、小原莉奈さん、1年生の小川詩歩さんが特選、3年生の小松咲良さん、2年生の福留果梨さんが佳作を受賞しました。

また、同中2年生の小松愛加さんが同標語コンクールにおいて、佳作を受賞しました。



▲委員長賞(鏡野中1年・坂本陽菜さん)

◆門脇市政の合併協定に関する理念を継承し、順守します

◆まちづくりや各種計画の検討会議に、市民参加の機会を積極的に拡大し、市民に分かりやすい計画書を策定し、進行状況を公開します

◆効率的でスピード感のある行政、市民目線の行政を実現します

■定住のまちへ
香美市には、豊かな自然・優良な土地・しっかりとした地盤、共に連携して学び研究することができると高知工科大学があります。それらを生かすことで、食料自給率を上げ、再生可能エネルギーを利用し、防災対策の充実した魅力的な定住のまちを実現することができると考えております。

■高齢者の不安を解消
林業に磨きをかけます。また、職員が不足している福祉施設には、資格取得の支援を行うなど、雇用を促進します。

■地域産業の振興
農協や森林組合などの関係団体と話し合い、スピード感を持って、地元木材を使った住宅建設を支援するなど必要な施策を行い、農

◆ これらの施策の実現に努め、市民の不安を解消し、人に優しいまちづくりを目指してまいります。

このたび、4月9日付けで第二代香美市長に就任いたしました法光院晶一でございます。就任のご挨拶を申し上げます。責任の重さを感じる、身の引き締まる思いでございます。香美市は合併してから8年が経ちました。少子高齢化とともに人口が減少し、地域の実情は大変厳しいものがございます。高齢者の通院や買い物対策、山間部の生活道整備、農業地域では基盤整備や後継者対策、

市街地では商店街の活性化対策、子どもたちの教育環境の充実など、早急に取り組むべき重要課題が多くなっております。このような状況のもと、国・県と連携し、これらの重要課題への取り組みを着実に進めてまいります。また、行政経験を生かし、堅実な行財政運営を行うと同時に、住民との距離が近い、住民参加型の市政をつくり、安心安全で活力のある香美市を目指してまいります。

新市長

法光院 晶一



▲3月28日の当選証書授与式



▲4月9日の市長就任訓示

ほうこういん・しょういち

3月23日に投開票された香美市長選挙で初当選。任期は4月9日～平成30年4月8日。専修大卒。昭和49年、旧物部村役場入り。香美市福祉事務所長、総務課長を務め、平成23年退職。平成25年まで特別養護老人ホーム施設長。大川村出身。土佐山田町間。63歳。

